

別紙 1. 料金表

OVM サーバタイプ	単位	利用料金（税込）
ovm.small8	1 台あたり	44,660 円/月
ovm.small16	1 台あたり	60,060 円/月
ovm.medium8	1 台あたり	92,180 円/月
ovm.medium16	1 台あたり	97,680 円/月
ovm.medium24	1 台あたり	105,380 円/月
ovm.medium32	1 台あたり	125,180 円/月
ovm.large16	1 台あたり	197,120 円/月
ovm.large32	1 台あたり	211,420 円/月
ovm.large48	1 台あたり	227,920 円/月
ovm.large64	1 台あたり	251,020 円/月
ovm.wlarge32	1 台あたり	394,900 円/月
ovm.wlarge64	1 台あたり	422,400 円/月
ovm.wlarge96	1 台あたり	455,400 円/月
ovm.wlarge128	1 台あたり	620,400 円/月
ovm.qlarge64	1 台あたり	1,155,660 円/月
ovm.qlarge128	1 台あたり	1,240,360 円/月
ovm.qlarge192	1 台あたり	1,338,260 円/月
ovm.qlarge256	1 台あたり	1,454,860 円/月

OVM ディスク	単位	利用料金（税込）
ovm ディスク	100GB あたり	3,300 円/月

OS	単位	利用料金（税込）
Oracle Linux 7.6	1vCPU あたり	3,080 円/月
Oracle Linux 8.6	1vCPU あたり	
Windows Server 2012	1vCPU あたり	4,180 円/月
Windows Server 2012 R2	1vCPU あたり	
Windows Server 2016	1vCPU あたり	
Windows Server 2019	1vCPU あたり	

スタンバイサーバー	単位	利用料金（税込）
スタンバイサーバー	1 台あたり	33,000 円/月
スタンバイサーバー用ディスク	100GB あたり	3,300 円/月

オプションサービス	利用料金（税込）
サーバーセパレート	33,000 円/月
Oracle RAC・SEHA 向けディスク・ネットワーク設定	165,000 円/1 回

※本表は 2024 年 2 月 14 日時点の料金表です。

※サーバーセパレートは 1 設定（2 台 1 式）の料金です。

別紙 2. 選択可能なサーバータイプ、ディスク、OS 種別

サーバータイプ	vCPU 数	メモリ (GB)	利用料金
ovm.small8	1	8	別紙 1 に定める通り
ovm.small16	1	16	
ovm.medium8	2	8	
ovm.medium16	2	16	
ovm.medium24	2	24	
ovm.medium32	2	32	
ovm.large16	4	16	
ovm.large32	4	32	
ovm.large48	4	48	
ovm.large64	4	64	
ovm.wlarge32	8	32	
ovm.wlarge64	8	64	
ovm.wlarge96	8	96	
ovm.wlarge128	8	128	
ovm.qlarge64	16	64	
ovm.qlarge128	16	128	
ovm.qlarge192	16	192	
ovm.qlarge256	16	256	

ディスク	サイズ	単位	利用料金
ovm ディスク	100GB～8TB 1 サーバーにつき最大 4 本	100GB 単位で指定	別紙 1 に定める通り

※RAC・SEHA 構成をお使いの場合、共有ディスクは 3 本まで追加いただけます。

※本表は 2023 年 5 月 30 日以前にサーバー新規作成を依頼頂いた際のサービス仕様です。

OS 種別	バージョン	利用料金
Oracle Linux	7.6	別紙 1 に定める通り
Windows Server	2012	
Windows Server	2012R2	
Windows Server	2016	
Windows Server	2019	

※本表は 2023 年 5 月 31 日以降にサーバー新規作成を依頼頂いた際のサービス仕様です。

OS 種別	バージョン	利用料金
Oracle Linux	7.6	別紙 1 に定める通り
Oracle Linux	8.6	
Windows Server	2012R2	
Windows Server	2016	
Windows Server	2019	

※Oracle Linux のカーネルは、Unbreakable Enterprise Kernel(UEK)、もしくは Red Hat Compatible Kernel(RHCK)どちらかを選択いただけます。

※本表は 2024 年 2 月 14 日時点のサービス仕様です。

※Oracle Linux のサポートについては当社が一次受けします。

※Windows Server のサポートは当社では承っておりません。

※スタンバイサーバーのスペック・ディスクサイズ・OS は、作成元となったサーバーと同一になり、作成元のスペック・ディスクサイズを変更した場合も追従します。

別紙 3. 必要な Oracle Database ライセンス数・対応 Oracle Database バージョンについて

・ Oracle Database ライセンス数

利用する サーバーの vCPU 数	エディション名	基準となるプロセ ッサ数	必要な Processor ライ センス数	必要な Named User Plus ライセンス数
1～4vCPU	Oracle Database Enterprise Edition	利用するサーバー の vCPU 数に 0.5 を乗じた数 (小数点以下は切 上げ)	「基準となるプロセッ サ数」と同数	最大利用ユーザー数 (最小数は基準となるブ ロセッサ数に 25 を乗じ た数)
	Oracle Database Standard Edition / Standard Edition One / Standard Edition2	利用するサーバー の vCPU 数に関わ らず、1	「基準となるプロセッ サ数」と同数	最大利用ユーザー数 (最小数は 10)
8vCPU 以上	Oracle Database Enterprise Edition	利用するサーバー の vCPU 数に 0.5 を乗じた数 (小数点以下は切 上げ)	「基準となるプロセッ サ数」と同数 (最小数は 1)	最大利用ユーザー数 (最小数は基準となるブ ロセッサ数に 25 を乗じ た数)
	Oracle Database Standard Edition / Standard Edition One / Standard Edition2	利用するサーバー の vCPU 数に関わ らず、2	「基準となるプロセッ サ数」と同数	最大利用ユーザー数 (最小数は 10)

※Oracle Database のエディションによっては、1 DB あたりのスレッド数が制限されてい
る場合があります。仕様についてはオラクル社にご確認の上、適切なサーバータイプをお
選び下さい。

※Oracle RAC・SEHA を構築する場合、上記のライセンス数を参考に、Oracle RAC・SEHA
を構成できる種別のライセンスを、構成するサーバーの台数に合わせて適切にご準備下
さい。なお、Oracle RAC・SEHA を構成できるライセンス種別については、オラクル社
にご確認ください。

※記載の内容は、2019 年 10 月 31 日時点の情報となります。最新の情報についてはオラク
ル社に確認の上、適切なライセンスをご準備下さい。

※Oracle Database インストール後にスタンバイサーバーを作成した場合、並びにスタンバ
イサーバー切替後に何らかの方法で Oracle Database をインストールする場合などは、ス
タンバイサーバーについても作成元のサーバーと同数のライセンスが必要となります。

・対応 Oracle Database バージョン

提供 OS に対応する Oracle Database バージョンのサポート状況につきましては、直接
オラクル社へご確認ください。

※Oracle Database 製品についてのオラクル社のサポートは、お客様にてご用意ください。
※2023 年 5 月 30 日以前に新規サーバーをお申込みいただいた場合の仮想化基盤は Oracle
VM のバージョン 3 系となります。

※2023 年 5 月 31 日以降に新規サーバーをお申込みいただいた場合の仮想化基盤は Oracle
Linux Virtualization のリリース 4.4 となります。

※記載の内容は、2023 年 5 月 31 日時点の情報となります。

なお、最新のオラクル社のサポート状況については、お客様にてご確認の上、提供 OS を
選定してください。

【ご参考ページ】

Virtualization Matrix（リンク先は変更される可能性があります）

<https://www.oracle.com/database/technologies/virtualization-matrix.html>